



JTUC-TOKUSHIMA  
**連合徳島**

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 河村和男

vol. 238

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/



**12月4日公示**

**12月16日投票**

働くことを  
軸とする  
安心社会実現



選挙闘争勝利に向け団結ガンバロー

# 衆議院 選挙闘争 3人の推薦を決定

## フル回転で闘争勝利へ

連合徳島第24回  
中間期大会

連合徳島は11月22日、阿波観光ホテルで第24回中間期大会を開き、各構成組織から、代議員など80人が参加。12年度、13年度運動方針補強補充など、当面する取り組みについて決定し、意志統一を行った。

冒頭、連合徳島を代表しあいさつした河村会長が、5万人連合徳島実現プランの策定、13春闘に向けた取り組みについて述べたうえで、政局について「衆議院が解散され、12月4日公示、16日投票で総選挙が実施される。私たちが求める社会実現に向けて、数多く残されている政策・制度実現を図るためにも、衆院選を私たち自身の課題として取り組みが必要である」と訴えた。

運動方針では、齋藤事務局長が、政策実現に向けた政治活動の強化について、衆議院選挙第1区に仙谷由人さん、第2区に高井美穂さん、第3区に仁木博文さんを連合徳島推薦候補とすることと、来夏の参院選では、中谷智司さん(いずれも民主党)を推薦候補とする方針を提起。全体の拍手で承認された。加えて、「第46回衆議院選挙勝利で働くことを軸とする安心社会の実現をめざす特別決議」も提案され、選挙闘争勝利に向け、フル回転で活動することを確認した。

### 連合徳島推せん立候補予定者

#### 徳島第1区

徳島市、名東郡



せんごくよしと  
**仙谷由人**

1946年徳島市生まれ。1964年徳島県立城南高等学校卒業。東京大学法学部在籍中に司法試験に合格。1971年弁護士活動を開始。1990年衆議院選挙初出馬。初当選。2009年衆議院小選挙区徳島第1区で当選し6選。内閣府特命担当大臣(行政刷新)公務員制度改革担当大臣、内閣官房長官、内閣官房長官兼兼務・拉致問題担当大臣、民主党代表代行、内閣官房長官、官、民主党政策調査会長代行など歴任。

#### 徳島第2区

鳴門市、阿波市、美馬市  
(旧美馬郡脇・美馬町)、  
三好市、板野郡、三好郡



たか い み ほ  
**高井美穂**

1971年三好市(旧三好郡三野町)生まれ。三野中学校卒業。脇町高等学校卒業。早稲田大学第一文学部卒業。株ダイエー入社。2003年衆議院選挙四国比例区で初当選。2009年衆議院選挙徳島2区で当選。現在三期目。民主党にて男女共同参画局長、国対副委員長、副幹事長を歴任。衆議院委員会では文部科学委員会筆頭理事、青少年問題に関する特別委員会筆頭理事、科学技術・イノベーション推進特別委員会筆頭理事に就任。2009年文部科学大臣政務官、2012年文部科学副大臣として二度入閣。

#### 徳島第3区

小松島市、阿南市、吉野川市、  
美馬市(旧美馬郡穴吹町、木屋平村)、  
名西郡、美馬郡、勝浦郡、那賀郡、海部郡



に き ひろ ぶ み  
**仁木博文**

1966年阿南市宝田町生まれ。1985年徳島市立高等学校理数科卒業。1991年東京大学教養学部基礎科学科卒業。1997年徳島大学医学部卒業。2001年町立平田病院産婦人科勤務。2003年・2005年衆議院選挙に出馬。惜敗。2005年美馬市立山口山古宮診療所勤務。2007年徳島県立海部病院産婦人科非常勤。2009年衆議院選挙四国比例区で初当選。民主党にて予防接種法改正小委員会委員長、消費者問題PT副座長、消費者教育ワーキングチーム座長、生活排水適正処理推進プロジェクトチーム事務局長、男女共同参画局 現在 民主党徳島県連副代表。

# 友人・知人への支持拡大を



連合徳島会長  
河村和男

歴史を逆戻りさせないために

連合徳島構成組織組合員の皆さん。連合徳島は第24回中間期大会で、「働くことを軸とする安心社会」実現をめざし、「仙谷由人」さん、「高井美穂」さん、「仁木博文」さんの推せんを決定しました。

2009年に政権交代が実現して依頼、雇用のセーフティネットの拡大など、これまで連合が求めるあらゆる政策制度について前進が図られました。

とはいえ、長きにわたる自民党政権のツケは大きいように、政権運営での経験不足などで国民からの評価は厳しいものがあります。

しかし、「ローマは一日にして成らず」の言葉のごとく、これまでの仕組みや制度を変えていくことは容易ではありません。私たちに歴史の転換期を生きる者として、粘り強さと主体性が求められていると言えます。

皆さん、歴史を逆戻りさせたいではありません。推せん候補全員の必勝に向け、連合徳島3万5千組合員の総力を結集し、冬の陣に勝利しましょう。